

リレートーク

「私と地域と男女共同参画」

やっています



東箱崎女性協議会(東区)
2025.2.1 会長 丹生 秀子

校区の概要



東箱崎校区

1987年東箱崎小学校開校

1991年東箱崎公民館開館

世帯数: 4,125

人口: 7,182人

高齢化率: 25%

自治会・町内会: 7

九大跡地は校区内

<特徴>

集合住宅・高層住宅が多い

通勤族が多い

外国人の居住が多い

交通騒音、環境問題等

地域課題多い

東箱崎女性協議会の概要

- ① 会の設立: 1998年4月(2023年は25周年だった)
- ② 会の目的: 女性の自立と社会参画 **「ジェンダー平等をすすめる」(2024年)**
- ③ 組織: 自主参加、会員数30人(**女性に限らない**。男性3人)会費500円
- ④ 活動内容: 総会、バス研修(毎年、県内外女性団体との交流や視察・見学)
男女共同参画学習会(台湾に学ぶ女性の政治参画・尿失禁予防講座)
女性議員と語ろう! もっと政治を身近に!(2年連続)
文化祭でフリーマーケット(主催)、夢の音楽祭in東箱崎(実行委員会)
国際交流事業、ふれあい健康ウォーク等(実行委員会)
- ⑤ **広報誌**発行: 女性協議会ニュースを3月に**全戸配布**
- ⑥ 年間活動費: 約30万円 (会費、補助金、参加費)
(補助金: 市共創補助金 20万円、自治会連合会 2万5千円)

なぜリレートークなのか

2022年に**会長交代** **バトンタッチ**をスムーズに。東箱崎校区は、**地域のリーダー**として活躍している女性は多く、団体(自治)協議会や公民館運営懇話会はほぼ男女半々。しかし、コロナ禍で**活動が縮小し**、会員は**高齢化**していた。

ジェンダー課題は多々あるが、学習会では、テーマや対象を絞り切れなかった。若い人は子育てと仕事で忙しく、活動にも参加できない状況で、日程調整さえも難しかった。**若い世代**へどのように**活動をつないで**いくかは大きな課題。

外部講師ではなく、**身近な仲間**に活動や経験、思いを語ってもらうリレートークは、過去にやって評判が良かった。校区内でも物事の決定が少数者で決まるなど**民主主義の危機**を感じる出来事(世代・経験・言葉・思いのギャップ)があったので、**対話**の必要性を強く感じていた。**できることから**始めよう！

スタート

2022年8月「すべての女性が輝く令和の社会へ」林伴子さん
(前内閣府 男女共同参画局長)のDVD視聴後、
女性協初代会長 花田ひろ子さんの話題提供でスタート



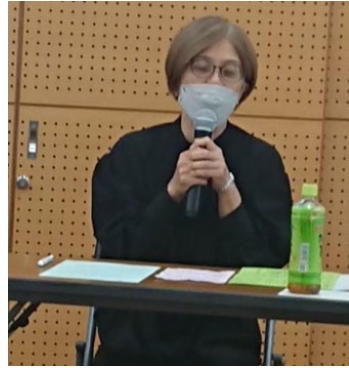
「五十歳をすぎたからって
子どもたちが育ったからって
楽をしようと思わないように
これから学ぶのです
学んで学んで自分の命を
運命に任せるのではなく
自分で使うのです」

と映画「われ弱ければ矢嶋楫子伝」の監督山田火砂子さんの言葉を紹介する花田ひろ子前会長

「私と地域と男女共同参画」個別テーマ

- ① 女性協議会の活動を振りかえって…（女性協議会前会長）
- ②～④ 子どもが真ん中の地域づくり…私たちの出番！東箱崎で子育て支援をやっていきます！（サロンいちばん星、のびっこクラブ、読み聞かせボランティア）
- ⑤ 里親さんに聞く、『里親のおはなし』（里親）
- ⑥ 教えて！佳那ちゃん！大学生生活楽しんでいますか？（女子大生）
- ⑦ 小学校PTA会長 感謝の5年間（東箱崎小学校PTA会長）
- ⑧ 昭和の夫婦と校区デビュー（女性協議協議会副会長）
- ⑨ 子どもたちと歩いた20年（青少年育成連合会会長）
- ⑩ 人生の伏線回収～五十にして天命を知る～（大学講師）

- ⑪ きかせてマー君 大学で学んだまちづくり (新社会人1年目)
- ⑫ 地域活動について思う事 (女性自治会長12年、社協会長5年)
- ② 福岡市の子育て施策・・パパのリアル育休 (子育てコンサルジュ)
- ⑬ 性教育は”生教育” 心、からだ、いのちからみた性教育
(元看護師・性教育講師)
- ⑭ この一年、我が家に起きたこと～地域の人々の共助に支えられて～ (前公民館長)
- ⑮ 東箱崎校区で障害児を育てて～私が地域活動を始めた理由～
(調理師・PTA副会長・自治会役員)



まとめ(3年間続けて良かったこと)

- 誰もがストーリーを持っている。**経験を語る**。(伝える力、**エンパワメント**)
- 教える、教えられる人を固定化せず、**学び合う関係**。
- **安心・安全な場**で本音で語り合う場、全員が感想を言う。
- 対話を通じて、当事者として課題に向き合うことができるようになる。
 - ➔他人ごとではなく**自分事**として参加
- **個人の問題は、社会的問題**と気づく
- 参加者を増やすための工夫⇒チラシ作成、LINEの活用、口コミ、託児をつける⇒20~30人
- 年間スケジュールを立てて、役員会議事録・アンケートをLINEで共有。**問題意識を共有化**。
- 性教育では40代、50代の子育て世代の参加者が多かった。(継続事業に)
- 話したい事、聴きたい事や人の名が出てくるようになった。(顔の見える関係・受援力も)
- 得意分野で講師デビューも。

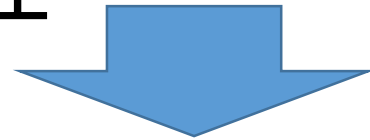
(大学講師、性教育講師、尿失禁ケアセラピスト、子育て支援コンシェルジュ等)

会の成果と課題

対話の土壌



- リレートーク報告書を25周年記念誌として発行
- 「性教育」「女性の政治参画」等を継続学習にできた
- 女性防災士が2人誕生



- 若者・女性リーダー発掘・育成
- 男性の参加者を増やす
- 学んだことを行動に変えるにつなげる

ご清聴ありがとうございました。

